

学年	高校1年	教科	芸術	科目	美術I	単位数	2
教科書名		高校美術1（日本文教出版）		副教材名	画材など		
コース・クラス		中高一貫					

## I. 目標

- ・美術の幅広い創作活動を通じて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心を育てると共に、感性を高め、創造的な表現と鑑賞能力を伸ばす。

## II. 授業のねらい

- ・美術の表現や鑑賞の基礎を学習し、さまざまな創作活動に必要な技能を高めさせる。自分の良さを発見し、美しさを感じ取る感性を高め、表現する楽しさや作品鑑賞の喜びを体感させる。表現及び鑑賞における幅広い活動を通じて、生涯にわたり美術を愛好する心情を養わせる。

## III. 授業の進め方

- ・参考作品（教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品）の鑑賞を通じて自分の作品の方向性を考え、色々な資料を集めて、課題に沿ったアイディアスケッチを数枚描かせる。
- ・スケッチから作品にまとめて制作に入り完成させる。完成後は他の生徒の作品を鑑賞し、その良さや美しさ感じ取らせる。
- ・「すずかけ祭」で作品の展示を行わせる。
- ・授業は美術室で行う

## IV. 学習上の留意点

- ・今後の学習や制作につながるような規則正しい行動を習慣づける。
- ・個人の考えや、課題に対する適性を理解し、柔軟に対応する。
- ・提出物の期限を守る。作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

## V. 定期試験

- ・定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

## VI. 評価の方法

- ・技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出期限を守れたかなどを評価の視点とする。また、出席状況や授業態度も重視する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	水彩画 ・与えられたテーマに従い絵画作品を制作  ポスター制作 ・企業のコンクールに出品する作品の制作	作品提出 小テスト 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透明水彩絵の具の効果と使用方法を理解する。</li> <li>・混色、にじみぼかしなど技術を熟知し、制作、鑑賞する。</li> <li>・すずかけ祭で展示する。</li> <li>・与えられたテーマに沿って、視覚伝達できるポスターを制作する。</li> </ul>
	5			
	6			
	7			
二学期	9	デザイン工芸 ・切絵の制作  彫刻 ・ペーパーナイフの制作  ・普段使用するのに適切なデザインを考える。 ・こだわりのあるデザインを考える。	作品提出 小テスト 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な道具の使い方をいかし、エスキースに忠実な作品を仕上げる。</li> <li>・計画性を持って制作する。</li> <li>・機能性を重視、かつ楽しめるデザインを考える。</li> <li>・切る・削る・掘る・磨くなどの加工方法を工夫する。</li> <li>・木の特性を生かした作品を制作する。</li> <li>・質感を表現するために表面の仕上げを丁寧に行う。</li> </ul>
	10			
	11			
	12			
三学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透明水彩絵の具を使って制作</li> <li>・与えられたテーマに従い想像力の豊かな作品制作をする。</li> </ul>	作品提出 小テスト 授業態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを理解し、完成度の高い作品を制作する。</li> </ul>
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。